

# 会報

# 熊本県日中協会

平成26年  
10月発行

《発行》  
熊本県日中協会  
会長 米満弘之

《事務局》  
〒860-0846  
熊本市中央区城東町4-2  
熊本ホテルキャッスル2F

Tel 096-356-4847  
Fax 096-325-2829

通刊89号

～さらなる友好の絆を～



「しっかりと民間交流を続けていきたい」と、米満弘之会長

平成二十五年度の事業・決算・監査報告、平成二十六年年度の事業計画・予算・役員選任案が満場一致で承認され、小野友道常任理事

熊本県日中協会平成二十六年年度総会が七月九日(水)、熊本ホテルキャッスル二階で開かれました。田川憲生副会長の開会の辞、米満弘之会長のあいさ

つに続き、来賓の小野泰輔、熊本県副知事、中華人民共和國駐福岡総領事館の張馳領事の祝辞の後、小山和作理事を議長に選出して議事に入りました。

## 「民間交流の充実を」 総会で会員が新たな決意

は興味深く聞き入っていました。(詳細は二面)

講演の後、会場を隣の部屋に移して、懇親会が行われました。

柏木明特別顧問(前会長)



60名が参加して開催された県日中協会平成26年度総会



懇親会開会の挨拶をする柏木明特別顧問

の閉会の辞で終了しました。総会終了後は、張晶氏(九州・日中間文化交流協会会長)が「日中間交流の現状と問題」と題して講演。上海出身で福岡在住、長年にわたり民間の文化交流活動を行ってきた同氏の経験に基づく話に、参加者

### ～新入会員～



西岡和彦氏



入江英也氏

の開会の挨拶の後、当協会の第二代会長である沢田一精顧問の乾杯の音頭で昼食



乾杯の音頭をとる沢田一精顧問

交流会がスタート。新入会員の株式会社ユウシステム代表取締役社長の入江英也氏、社会福祉法人熊本菊寿会施設長の西岡和彦氏をはじめ、参加者が次々と壇上に上がりスピーチするなど、和気藹々とした相互交流の場となりました。

### 主な事業計画

- ◎日中交流の推進事業
- ◎会報の発行
- ◎協会運営の活動強化
- ◎第33回・熊本春節祝賀会
- ◎交流会等の実施
- ◎県中国残留孤児等対策協議会への協力

## 第21回 熊本国際交流祭典

2014 11/9 (Sun.)

11:00~16:00

健軍商店街

熊本県日中協会は今年もグルメ部門に参加して、中国の伝統的なお菓子の麻花(マーファ)などを手作り販売します。皆様どうぞ会場へ足をお運びください。





# 将棋の後は 歓迎交流会



熊本機能病院地域交流館の「宴の家」で、上海許建東将棋倶楽部の歓迎交流会が開催されました

日中の国旗の前で歓迎の挨拶をする米満弘之会長



会員の西田田鶴子さん(右)が、参加者にお抹茶を振る舞ってくださいました



上海将棋倶楽部の許建東氏と記念品の交換



お料理はハイキング形式。御馳走がスラリと並んでいました

上海の子ども達も、お茶道コーナーには大人気でした



磯田淳県国際課長の音頭で乾杯

## 熊本の「遺産」に大喜び 将棋少年が観光地を見学



お天気にも恵まれ、美しい熊本城に感激



水前寺公園で記念写真

芦北では、海水浴とバーベキュー。県国際課や会員らスタッフもお手伝い



上海許建東将棋倶楽部の皆さんは七月二十三日に来熊、将棋大会の他、県内各地を観光しました。「日本はとても美しく、日本人は大変親切だ。日本に対する認識が大いに変わった。来てよかった」と嬉しい言葉を残して、二十九日に帰国の途に着きました。



荒尾市の宮崎兄弟生家の見学。この日はグリーンランドや天水の草枕温泉にも行きました

歯科医師会会員は、日頃より自己研鑽に努めています。



安心・安全歯科医療推進制度

口腔ケアはとても大切です

入院患者さんの口腔内を清潔に保つことは、病気そのものの改善に繋がります。熊本県歯科医師会は、様々な医科歯科医療連携事業を推進しています。

一般社団法人熊本県歯科医師会

〒860-0863 熊本県熊本市中央区坪井2丁目4番15号

TEL 096-343-8020/FAX 096-343-0623

# 桂林市から医学関係者

## 医療・保健・福祉方面を学ぶ

五月十九日から四泊五日の日程で、熊本市の友好都市である桂林市から、医療・保健・福祉関係者ら八名の

席、会員や熊本市関係者と交流を深めました。

療・介護・福祉についての勉強会を行いました。

一行は、熊本市長を表敬訪問後、熊本ホテルキャッスルで開催された県日中協会の主催の歓迎交流会に出

来熊二日目からは、日本赤十字社熊本健康管理センター、熊本保健科学大学、熊本機能病院を視察、また熊本市市民病院事業管理者の高田明氏や熊本市健康福祉子ども局総括審議員兼次長の中熊秀光氏、当協会会長

三日目は、特別養護老人ホームの天寿園や社会医療法人社団高野会を視察、阿蘇火口を見学した後、苓北町に移動。

の米満弘之熊本機能病院会

長を講師に、公営病院の運営や高齢化社会の保険・医

四日目、苓北で天草慈恵病院の関連施設を視察するなど、精力的に日本の医療・保健・福祉を学びました。

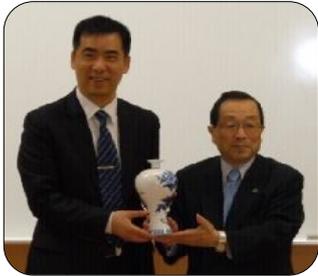
大変勉強熱心な視察団に、受け入れ側も大感激。これからも相互の医療交流を進めていくことを誓って、二十九日、福岡空港から帰国する訪問団をお見送りしました。



熊本市長（前列左）を表敬訪問した訪問団一行。前列中央が訪問団代表の鄧曉強桂林市衛生局長



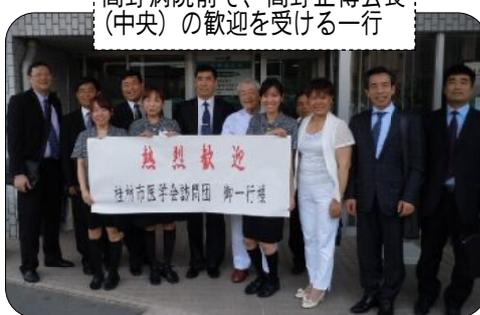
総勢五十名で開催された歓迎交流会で挨拶をする鄧曉強氏



熊本保健科学大学の小野友道学長（右）と鄧曉強氏



日赤健康管理センターの小山和作名誉所長の説明を聞く参加者ら



高野病院前で、高野正博会長（中央）の歓迎を受ける一行



苓北町のはまゆう療育園訓練室を視察。次々に質問も



メモをとりながら、熱心に学ぶ訪問団の皆さん

イーコウ チーブウチャン パンズ  
**一口吃不成胖子**  
一口食べただけでは太らない  
(何事も急にはできない)



### 編集後記

中国語には深みがあります。例えば「来」。日本語と同じ「来る」という意味が代表的で、ほかに、物売りの呼び声に用いたり、回想の気持ちを表したり・・・。

「好」も「好む」のほかに「良い」「親密である」や、動作の完成を表現する「よし終わる」というように、多様性に富んでいます。

言葉の文化が日本に伝わったのは中国から。日本には幸い、平がなで表現を補っているのに対して、中国では漢字を巧みに使い分けながら見事に感情を伝えています。

すばらしい漢字文化の国、中国とこれからも友好を深めるためには、豊かな心と絆が欠かせません。

(機関紙編集委員会)

・小串 照彦